

2013年2月7日
第4回知の市場年次大会
奨励賞授位記念講演

雑感、知の市場奨励賞の受賞に寄せて - 社会に伝えたいこと -

ケミカルリスク研究所所長
星川欣孝

1. 社会人再教育講座の意義
2. 日化協出向の4年間(1992~1996)は化学物質総合管理を体系的に学ぶ稀有な機会
 - 1) アジェンダ 21 第 19 章に係る様々な国際会議への参加
 - 2) 化学物質管理の国際調和への世界の挑戦
 - 3) アジェンダ 21 第 19 章のプログラム領域と化学物質総合管理体系の関係
3. 科目の講義構成
 - 1) 前科目:「化学物質総合管理の基礎と応用」
(東京工業大学社会人教育院Cプログラム 2009 年度前期)
 - 2) 現科目:「化学物質総合管理を目指す国際協調活動に学ぶ」
(UL Japan 科目 UT133 2012 年後期)
4. 国際合意への対応の誤り
 - 1) 社会に伝えたいこと (1)
- 法体系の全体的見直しに係る国際合意への対応の誤り -
 - 2) 日本の化学物質規制体系の実態
5. 改正化審法第 47 条の政府の運用方針
 - 1) 社会に伝えたいこと (2)
- 化審法第 47 条の運用解釈の誤り -
6. 政府が未着手の喫緊の課題
 - 1) 総合的、統一的な報制度に係る両議院附帯決議 (2009.5)
 - 2) 社会に伝えたいこと (3)
- グローバル時代に不可欠な化学物質管理法制整備の緊急性
 - 3) 化学物質総合管理法制における関係行政機関の協働体制
 - 4) 化学物質総合管理法制への再編成の構図
7. 最近の学会誌投稿報文

以上